4　理科

学校番号	1008

令和３年度　理科

教科	理科	科目	地学	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	地学　（数研出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学の内容は、地球の構成、大気・海洋の構成、宇宙の構成の３分野に分けられる。各項目ごとに、観察・実験・実習をおこない、地学的に探求する方法を習得する。また、探求の過程を通して、仮設の設定、実験の計画、情報の収集、データの解釈、推論などに取り組むことで、地学の基本的な概念や原理・法則を習得したい。また、私たちの身の回りで起こる自然災害についての基礎知識を理解することで災害への対応についても学んでほしい。

2　学習の到達目標

地学的な事象・現象についての観察、実験や探求活動を行い、自然に対する関心や探究心を高め、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地球の構造や、地震・火山などの成因、気象現象や宇宙の構造などに関心を持ち調べようとする。	地球や宇宙の観測方法を学び、そこからどのように理論が作られたか、また、プレートテクトニクスなどの理論がどのようにして発見されたか等に関心を持ち考えることができる。	顕微鏡を用いた岩石鉱物や化石の観察、直視分光器による太陽スペクトルの観察などを通して、自然現象を科学的に探求する技能を身につけている。	地球の構造や発達史、大気の運動を支配する原理、恒星の成因や宇宙の基本法則などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期中間	地球の構成	地球の形と重力・地磁気	○				a:地球の形状や内部構造に関心を持っている。 b:低緯度と高緯度での緯度差１度の違いから地球の形が推論できる。	学習状況 探究活動 ノート・プリント 観察・実験 定期考査
		地球の内部		○				
	地球の活動	プレートテクトニクス	○				a:プレートテクトニクスに興味を持つ。 b:変成作用とプレートテクトニクスの関係を理解し、弧状列島の発達を考えようとする。 c:鉱物・火成岩の顕微鏡観察を行い、鉱物の光学的性質や岩石組織を調べる。	
		地震と火山			○			
		変成作用と造山運動		○				
後期期末	大気と海洋	大気の構造と運動	○				a:大気の構造に興味を持っている。 b:エルニーニョ現象・ラニーニャ現象の仕組みと気候への影響を理解し考えようとしている。 d:海水の組成と海洋の層状構造を理解している。	学習状況 探究活動 ノート・プリント 観察・実験 定期考査
		海洋と海水の運動				○		
		大気と海洋の相互作用		○				

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。